

CODE 海外災害援助市民センター
2003 年度事業報告
2003. 12. 1～2004. 3. 31

CODE 海外災害援助市民センター
2004. 5. 17 総会資料

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出額(千円)
海外災害地への救援活動事業	救援プロジェクト	12月26日～3月31日	イラン南東部地震	2人	対象地域住民	4,124
		12月1日～3月31日	アフガニスタン	2人	対象地域住民	2,294
		12月1日～3月31日	アルジェリア地震	2人	対象地域住民	0
		12月1日～3月31日	中国ウイグル地震	2人	対象地域住民	0
		12月1日～3月31日	トルコビンギョル地震	2人	対象地域住民	0
	被災地支援のためのクラフト事業	12月1日～3月31日	全国	1人	全国各地	8
人材育成事業	NGO ことはじめ(初級編)	12月6日	神戸YMCA	1人	13人	40
	CODE寺子屋(中級編)	2月14日、2月21日、3月28日	JICA国際協力機構	3人	71人	93
	地球のくらし方(国際交流編)	開催せず				0
	出張セミナー(訪問型)	12月23日～2月26日(計:13回)	全国	2人	学生及び地域住民	0
	専門セミナー	開催せず				0
災害関連情報の収集及び発信事業	災害情報サイト『CODE World Voice』の運営	12月1日～3月31日	サイト上	3人	不特定多数	594
国内外のネットワーク構築事業	関係機関の開催するセミナー、シンポジウムへ出席	12月5日～2月14日(計:4回)	神戸市内	3人	不特定多数	0
	国際会議のための準備委員会を設立、開催	12月1日～3月31日	神戸市内	2人	不特定多数	0
「市民による災害救援」に関する調査・研究事業	協同組合の研究	12月1日～3月31日	事務所	1人	理事関係者	0
「市民による災害救援」に関する啓発及び広報活動事業	機関誌の発行	機関誌は毎月1回発行	事務所	3人	全国各地 600人・団体	219
	冊子(グッズ)の発行、販売	12月1日～3月31日	事務所	2人	全国各地	379
	アフガニスタン文化事業の展開	12月1日～3月31日	全国	1人	地域住民	18
CODE基金事業	CODE基金のための準備委員会を設立	開催せず				0

【海外災害地への救援活動事業】

イラン地震救援プロジェクト (2003年12月26日発生)

2003年12月26日に発生した地震の被災地、イラン南東部バムへの支援を開始した。第1次調査団として2名を1月1日から8日まで現地派遣を行い、第2次調査団を2月26日から3月11日まで派遣をした。なお、今回の支援は日本ボランティア救援ネットワーク (NVNAD) と大阪大学との協働で始められ、現地ではすべて Message from KOBE という名を使用している。

2回の派遣によって、現地では子ども支援が開始された。テヘランに本部を置く「働く子どもを守る会 (AHKK)」をカウンターパートとして、子どものケアセンター、女性の運動の場ともなる大型テント支援を行った。また、被災地の中心地近くにあった幼稚園「Hope of Mother」へのコンテナ支援も子ども支援として行っている。この Hope of Mother への支援は Message from KOBE とシャンティボランティア会 (SVA) との協働で支援を行った。また AHKK を通して他の5つの幼稚園に対する物資援助も行った。今後の調査によっては新たな経済再生に関するプロジェクトを立ち上げる。

2003年度寄付金	内 12/1~3/31 の寄付金
22,073,002 円	22,073,002 円

アフガニスタン救援プロジェクト (2002年7月17日~)

2002年7月に立ち上げられたアフガニスタンぶどう畑再生プロジェクトは、2度目の春を迎えることとなった。現地では12月の視察時に約束をしたカレーズの清掃が始まっていたことを3月の訪問で確認することができた。

現在プロジェクト対象地域である4村のカレーズ各1本を清掃中である。「ぶどう基金」で貸し付けを受けたぶどう生産者は288家族だが、返金可能な家族は約28家族と報告があった。まだまだ1年目からは換金できる状態にはならない家族がほとんどのようだ。

また、2月の訪問時にはミールバチャコット女子学校を訪れ、女子学校での新苗作りができないかと相談した。教育省や地域担当知事も会談し、了承を得た。3月に正式な契約書を交わした。しかし、問題は女子学校でこのプロジェクトを行うには校庭の周りをすべて囲む壁が必要という条件があり、またこの学校には井戸もない状態にあった。すべてを同時に始めるには、資金不足のためまずは井戸を掘ることと、そして小さな囲いを作りその中で新苗作りを始めることとした。

また3月の訪問では、今後の協同組合のあり方について大変有意義な議論がなされた。地域内で協同組合が平和構築へと貢献する事業が始められる予定である。

日本国内でのぶどう畑再生プロジェクト会員獲得については、急激に増加するということはないもののプロジェクトに賛同し、会員になってくださっている方々が多くなっている。

	2003年度寄付金	内 12/1~3/31 の寄付金
アフガニスタン本体	228,448 円	38,495 円
ぶどう基金	4,831,400 円	1,484,400 円
合計	5,059,848 円	1,522,895 円

	基金開始~3/31	内 12/1~3/31
1年会員	406 人	123 人
3年会員	181 人	28 人
総会員数	587 人	151 人

中国ウイグル地震救援プロジェクト (2003年2月24日発生)

2003年度寄付金	内 12/1~3/31 の寄付金
1,498,189 円	127,000 円

トルコビンギョル地震救援プロジェクト (2003年5月1日発生)

2003年度寄付金	内 12/1~3/31 の寄付金
631,294 円	63,183 円

アルジェリア地震救援プロジェクト(2003年5月23日発生)

	2003年度寄付金	内12/1~3/31の寄付金
アルジェリア本体	1,225,258円	173,854円
お返しテント募金	2,137,991円	10,000円
合計	3,363,249円	183,854円

救援プロジェクト寄付金総額

	2003年度寄付金	内12/1~3/31の寄付金
イラン地震救援プロジェクト	22,073,002円	22,073,002円
アフガニスタン救援プロジェクト	5,059,848円	1,522,895円
中国ウイグル地震救援プロジェクト	1,498,189円	127,000円
トルコビンギョル地震救援プロジェクト	631,294円	63,183円
アルジェリア地震救援プロジェクト	3,363,249円	183,854円
合計	32,625,582円	23,969,934円

クラフト販売

被災地 NGO 協働センターの協力の下、KOBЕ クラフト「まけないぞう」や、アフガニスタン支援「ぶどうの絵ハガキ」の販売を行った。

【人材育成事業】

NGO ことはじめセミナー

兵庫県生活復興県民ネット「地域活動推進講座助成金」を得て下記の通り開催した。

下期は「貧困」をメインテーマに NGO の各分野からそれぞれの問題を考えた。

計5回参加者総数：80名

開催日時	講師	テーマ	受講者数
12月6日	神田 浩史さん ODA改革ネットワーク・AM ネット	第5回「貧困とODA ～貧困解決に向けて～」	13名

CODE 寺子屋

「国際的な人道援助のあり方」と題した NPO 法人格取得記念講演会(計3回)を開催。

この講演録は兵庫ジャーナルの協力を得て「CODE ブックレット」として来年度出版。

開催日時	講師	テーマ	受講者数
2月14日	芹田 健太郎 CODE 代表理事	国際的な人道援助と CODE	30名
2月21日	鵜飼 卓さん HuMA 災害人道医療支援会理事長	災害医療と CODE の役割	15名
3月28日	室崎 益輝 CODE 副代表理事	予防防災と CODE の役割	26名

専門セミナー

開催せず。

地球のくらし方セミナー

開催せず。

出張セミナー

下記の通りアフガニスタン報告、イラン地震報告などを行った。

開催日時	講義名	主催団体	講演者
12月23日	アフガニスタン報告会	カトリック堺教会	村井理事
1月10日	イラン地震報告会	FM わいわい	事務局 斉藤
1月14日	災害救援・NGO	大東文化大学	村井理事
1月15日	イラン地震報告	神戸市立湊島小学校	村井理事
1月16日	イラン地震報告	西ノ宮市立津門小学校	事務局 斉藤
1月22日	イラン地震報告	天理教たすけあいネット	事務局 斉藤
1月23日	イラン地震報告	日本ボランティア救援ネットワーク	事務局 斉藤
1月27日	アフガニスタン報告	小百合児童館	事務局 斉藤
1月30日	アフガニスタン報告	堺女性大学	村井理事
2月14日	アフガニスタン報告	コープこうべ	事務局 斉藤
2月21日	イラン地震報告	神戸フリースクール	事務局 斉藤
2月24日	イラン地震報告	関西 NGO 協議会	事務局 斉藤
2月26日	イラン地震報告	神戸市立成徳小学校	村井理事

【災害関連情報の収集と発信事業】

ホームページ作成及び発信事業

災害救援情報、セミナー情報などを中心に発信を行った。イラン南東部地震に関しては、現地からの情報をほぼリアルタイムにHP、メーリングリストで発信することができた。3月末までのアクセス数は約1万5,000件。(昨年度は1年間で5,000件)。

また昨年度後期より開始した「World Voice～災害から見る人々の暮らし～」は、12月にHPのリニューアルを行い、14人の翻訳ボランティアの協力により UNOCHA リリーフウェブの翻訳及び発信を行っている。リニューアル後のアクセス数は約800件。

【国内外のネットワーク構築事業】

国際会議の開催準備

市民とNGOの『防災』国際フォーラム組織委員・実行委員、合同委員会が行われ、事業内容など予算について承認された。市民とNGOの『防災』国際フォーラムは2004年12月10、11日開催予定。

関係機関の開催するセミナー・シンポジウム等への参加

下記のセミナー及びシンポジウムへ参加した。

開催日時	セミナー及びシンポジウム名	主催団体
12月5日	国際緊急援助隊導入研修	JICA 国際協力機構
12月6日	国際協力フェスティバル2003	JICA 兵庫国際センター
2月7日	国際シンポジウム：コミュニティが育む防災	UNCRD 国連地域開発センター
2月14日	平和学習会：アフガニスタンのぶどうの木	コープこうべ

【市民による災害救援に関する啓発及び広報事業】

機関誌の発行

CODE レター、プロジェクトニュースは4回発行。ぶどう新聞は1回発行。現在の発送数は、会員はじめ各救援プロジェクトの支援者、関係機関や構想委員会時からの関係者など557部。そのほかセミナー参加者などへの配布も合わせると発行部数は約600部。

ブックレット及びグッズの発行、販売

「災害救援 支えあいは国境を越えて」が出版され(神戸新聞総合出版センター発行)、2004年1月16日から販売となる。CODEは編著元になっていることから340冊買い取る。

◆販売—208冊 委託—80冊

アフガニスタン文化事業の展開

「在りし日のカブル博物館」の上映会およびビデオ販売を行う。

◆上映会-1 カ所 (應典院・大阪府)

◆ビデオ販売数-9 本 (12/1~3/31)

【CODE 基金事業】

設立準備

開催せず。